

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第84号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年8月10日 11時30分ごろ	
発生場所	宮城県仙台塩釜港（塩釜区） 塩竈市地藏島灯台から真方位262° 810m付近 （概位 北緯38° 19.3′ 東経141° 03.7′）	
事故等調査の経過	平成22年9月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	引船 第十八 ^{なんかい} 南海丸、19トン	
船舶番号、船舶所有者等	295-38292宮崎、南九海事株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底及びプロペラ損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、仙台塩釜港（塩釜区）において、航路内の左側を同港西ふ頭に向け航行中、平成22年8月10日11時30分ごろ、船尾船底に衝撃を受けた。 本船は、そのまま続航して着岸した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東 風速 約6.0m/s 海象：潮汐 上げ潮の初期（潮高約26cm）	
その他の事項	本船の喫水は、船首約0.8m、船尾約2.8mの喫水であった。 本船は、平成22年8月18日、入渠して上架したところ、船底及びプロペラに損傷が発見された。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、仙台塩釜港（塩釜区）において、航路の左側を航行中、左側端に接近したため、浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、仙台塩釜港（塩釜区）において、航路を航行中、左側端に接近したため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	